

請 願 書

鳩山由紀夫内閣総理大臣殿

年 月 日

日本解体法案である「1000万移民推進」について反対いたします。

【反対理由】

1) 治安悪化の懸念

社会経済における国際化にともない、外国人による犯罪は近年増加の一途をたどっています。特に組織的な外国人犯罪は治安への重大な脅威となっており、警察官増員など、対応処置をとらないままの受け入れは、治安悪化を避けられません。(平成20年警察白書参照)  
※平成20年中の来日外国人(永住者などを除く)犯罪(刑法犯及び特別法犯)の  
検挙件数・人員は、31,252件、13,885人。

2) 雇用情勢の悪化

製造業派遣の原則禁止法案の審議が、国会で始まります。多くの企業が安い労働力を求めて、外国人移民を優先的に就職させる事態が予測されます。それにより就職幅は激減、再就職の困難によるニート・完全失業者が激増する事態を憂慮します。

3) 異文化民族間のトラブル

異文化流入による抗争、紛争の事例は世界中にあります。十分な準備や対応を怠ったまま、異なる文化・宗教が日本に持ち込まれる事は、異国の移民同士の対立と、それにより起こるトラブルの元凶となり、加えて、日本既存の宗教施設等へのテロ行為も懸念されます。

4) 移民への社会福祉・教育費の増大

移民本人やその親の介護が必要になった場合、人手も資金も足りない我が国に取っては大きな負担になります。老介護の議論を置き去りにして移民を受け入れるべきではありません。また、日本語を理解できない子供の教育に対応するには莫大な費用と指導者の育成が必要になります。

以上、上記4項目により反対します。

住所：  
氏名： (印)  
年齢： 歳